

令和5年度

境港市子ども・子育て会議 会議録

日 時 ◇ 令和5年10月30日（月） 19:00～20:10

場 所 ◇ 境港市保健相談センター講堂

出席委員◇ 委員13名（別添）

（出席9名、欠席4名）

傍聴者 ◇ なし

会議書記◇ 子育て支援課児童係長 川田順子

(事務局)

こんばんは。本日はお忙しい中お集りいただきまして、ありがとうございます。
定刻になりましたので、これより令和5年度第1回子ども・子育て会議を開始いたします。

開会に先立ちまして、境港市福祉保健部長 黒崎よりごあいさつ申し上げます。

＊境港市福祉保健部 黒崎部長挨拶

(事務局)

続きまして、今年度の事務局より自己紹介させていただきます。

＊事務局自己紹介

(事務局)

今回、新しい委員の方もいらっしゃいますので、改めて委員の皆様を紹介させていただきます。

順番に私がお名前を読み上げますので、恐れ入りますが、その場でご挨拶をお願いします。

＊委員紹介

(事務局)

ありがとうございました。皆様どうぞよろしくお願いします。

次に本日の審議に入る前に、本日の資料を確認させていただきます。

境港市子ども・子育て会議設置要綱と名簿を配布しています。

また、事前送付していましたが「令和5年度 子ども・子育て会議資料」に沿って本日説明いたしますが、本日お手元に無いかたがいらっしゃいましたら、いくつかご用意しておりますので、お申し出ください。

また、新規委員様の委嘱状につきましてはお一人ずつに手渡しするべきではありますが、事前に席に配布させていただいておりますのでご了承ください。

それでは、本日の会議の成立につきまして、ご報告いたします。

境港市子ども・子育て会議設置要綱第6条、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとあります。本日、現時点で半数以上の方にご出席いただいておりますので、会議が成立することをご報告させていただきます。

それでは審議に入りたいと思います。

境港市子ども・子育て会議設置要綱第5条第3項に会長は、会務を総理するとございますので、会長に一言いただき、そのまま進行をお願いします。

(会長)

失礼いたします。先ほどご紹介いただきました嘉賀です。

皆さんお忙しい中、又はお疲れの中ですので、できるだけ短くしたいと思いますが、中身については、しっかりと議論しあって次につなげるものにしたいと思いますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って議事を進めます。

一つ目、境港市子ども・子育て支援事業計画第二期の進捗状況について事務局より説明をお願いいたします。

＊会議資料に沿って説明

(会長)

ありがとうございます。

ちょっとたくさんあったので区切りながら、それぞれ聞きたいと思います。

まず第二期計画の確保方策の見直し、資料8ページから9ページというところで何かご意見等はございませんでしょうか。質問でもいいと思いますけども、いかがでしょうか。

なかなか聞きなれない言葉や数字がたくさん並んでいて難しいところもあるのですが。

子ども・子育て支援事業計画の中間見直し、資料10ページから12ページというところで、先ほど説明していただきました。この見直しについて、いかがですか。

続いて、令和4年度子ども子育て支援事業の進捗状況、資料IIを説明していただきました。全体を通していかがですか。

これが次の計画の元になると思いますが、この事務局の見直しについてはよろしいでしょうか。

(事務局)

補足の説明をします。

資料IIの3ページ、令和4年度に子育て短期支援事業の実績がありませんでした。実績がない理由に、利用しづらいという声がありました。

今年度から見直しを行い、里親を追加しました。市内の里親の方に委託を行った結果、今年度は利用実績がありましたのでご報告します。

なかなか利用しづらい部分もありますが、必要な方が使いやすいよう、見直しを行っているところです。

(会長)

放課後児童クラブについては、教育委員会の管轄ですのでそちらについては本日、担当課長が来ておられますので様子を聞かせていただけたらと思います。

(事務局)

放課後児童クラブの待機児童につきましては、昨年度は渡と中浜に数名いましたが、今年度については、1人もいないという状況になっています。

(会長)

ありがとうございました。

では、中間見直しについては、ご承認いただけるということでよろしいでしょうか。

*異議なし

みなさん承認していただけたということで次に進みたいと思います。

(副会長)

1ついいですか。

資料Ⅱの(9)一時預かり事業についてですが、確保としては431人ということですよ。これは実際に利用された人数が書いてありますか。

(事務局)

こちらは量の見込みですので、延べ431人のお子さんが、11ヶ所の施設で一時預かりを利用する見込みであると、計画策定時に見込んだということです。ただ、令和4年度の実績としては10か所の保育施設で延べ129人の利用実績だったということになります。

(副会長)

ありがとうございます。

431人の一時預かりを対応できる見込みだったけれども実績は129人しか利用がなかったというところですけども、保育園は定員に近い状況で園児を受け入れている状況かつ、保育士不足の状況で自園の園児を預かるのでいっぱいはいっぱいです。

一時預かりの電話も多々ありますが、保育士の人員配置やその時の園児数によって受け入れできない保育園がたくさんあるのではないかと思います。

数字上は受け皿を確保できているように見えますが、実際は園が受け入れできていないというのが現状かなと思います。

そのあたりを今後市内の保育施設で対策をしていく必要があると感じているとこ

ろです。

（事務局）

ありがとうございます。実態に基づいたご意見だと思います。

私どもも、保育士不足の関係で定員がいっぱいだという事は、現状把握しております。今、言われた通りだと思います。

国の方で、現在令和6年度に向けて「子ども誰でも登園制度」というのを検討しております。その中で、一時預かり等をレスパイトの関係で受ける施設がどのようにしていくか、今後議論されていくことになります。

保護者の方に子育てしやすい環境というのは常に目指していかないといけないと思います。市としても検討課題として、今後とも取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

（会長）

大事なところですね。

これも今後、見守っていきたい大事なところだと思います。

中間見直しについては、ご承認いただけたということで次に進めさせていただきます。

（会長）

続いて、次第2つ目「第三期境港市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール案及びニーズ調査について」について事務局より説明をお願いします。

＊会議資料に沿って説明

（会長）

ありがとうございます。

これまたたくさん色々なことの説明がありましたけど、順番に見ていきたいと思えます。

資料Ⅲ、1ページにスケジュール案が出てきました。

第三期計画策定期間5ヵ年で令和7年度から令和11年度というところで、アンケートを実施し、3月中に報告にしたいというスケジュールになっています。

令和6年度がこのようなスケジュール計画になっています。

前回に比べるとタイトなスケジュールになっているようですけども、委員の皆さん、これ見てどうでしょうか。

（事務局）

補足をします。今回、来年の10月までに策定させていただく計画とした理由が、現在の委員の皆様の任期が10月末までになっております。現在の委員の皆様と、今

回は一緒に考えて計画を作っていきますので、任期までで作成したいと考えております。タイトにはなってしまいますが、このスケジュールで考えています。

(会長)

私たちが考えていこうということですが、このスケジュール案でよろしいですか。タイトなスケジュールになると事務局の方が大変ではないかなとは思っているのですが、その辺、事務局としてはよろしいでしょうか。

(事務局)

問題ありません。

(会長)

続いて調査方法についてです。いかがですか。
まず、対象の児童についてですけれども、前回通り就園前の児童の保護者と5歳児の保護者に絞るのか、今回は対象を変えるのかについてその辺はどうですか。

(委員)

第2期策定時のアンケートが0歳児から2歳児が全体724人の中で300人。5歳児が全体で269人の中から200人を無作為抽出したという話だったと思うのですが、今回0歳児から1歳児、5歳児で、こちらの全体の人数は何人ぐらいでしょうか。

(事務局)

今回、対象と考えております0歳児から1歳児の保護者の全体数が360人で300人はその83%にあたります。5歳児の保護者については、全体数が238人、そのうち200人を抽出すると、全体の84%となります。

(委員)

ということであれば全数調査でもいいのかなという気もするのですが、いかがでしょうか。

(会長)

今、全数調査でもいいではないかという声が上がりましたが、抽出ってことになると、事務局としてはこういった形で行うと考えておられますか。

(事務局)

市民課で対象年齢から無作為に何名抽出するよう依頼すると抽出してもらえますので、抽出された方が対象となってきます。

先ほど、委員が言われた、全数としてもそこまで数が変わらないので、そこは実施可能だと思っております。アンケート調査につきましては、一般的に調査対象が1,000世帯いるとすると誤差がない数値をだすためには、285件ほどサンプルがあればいいということになっています。前回の回収率から計算すると530件くらい調査対象があればいいと考えています。

調査予定件数は600弱ですので、数的に問題ないと思っております。あとは、現在検討している対象が、就学前の子どもの保護者だけなので、例えば小学生を対象にするのはどうかという点について、委員の方からご意見をいただきたいと思っております。

(会長)

事務局の方から全数調査でも問題ないという話と、小学生を対象にするのはどうかという話も出ました。どう思われますか。何年生ぐらいまでを考えておられますかね。

(事務局)

小学校には児童クラブがあり、利用が多いのは、3年生までになります。3年生を対象にすると、今まで児童クラブを使っていた方の意見も聞けると思いますので、小学校3年生を対象にしてはどうかと思っています。人数は273人ですので、この小学生を合わせると全体で1,000人くらいになるというところです。

(会長)

どうやって配布しますか？

(事務局)

無作為抽出でしたら、郵送を想定していました。ただ全数となると、保育施設や学校経由というのも考えられると思います。

調査対象が確定しましら、効率のよい、回収率の高い方法を検討したいと考えております。

(会長)

全数調査となると、保育施設等の協力も受けたいとのことですが、実際にここにおられる保育関係者の方々いかがですか。

(委員)

必要があれば協力します。

(会長)

P T Aの立場の委員様、いかがでしょうか。

(委員)

保育施設で回収するとなると回収率はかなり上がってくるのではないかなとは思っています。

(会長)

そうすると、学校の方の協力も必要となるとと思いますが、課長どうでしょうか。

(事務局)

協力できると思います。

(会長)

そうすると、保育施設、学校含めて、その立場で協力ができるという形ですね。配布については、郵送や各施設から直接配布するという形になります。

次に、回収方法については、配布した用紙に記入してもらう方法や、最近ではQRコードから読み取るという方法もありますよね。その辺はいかがですかね。

(事務局)

WEBを活用しての回収方法について、対応したいと考えています。

(事務局)

事務局としては、なるべく回答率を上げたいので、WEBは使っていきたいと思っています。昨年度、福祉課が計画を作成した際にアンケートを行っておりまして、郵送とWEBによる回答方法をとっておりました。339件の回答のうち、紙面での回答が267件、WEBでの回答が72件ということで、WEBでの回答が少なかった部分もございますので、事務局としては、紙面とWEBの両方で行いたいと考えています。

(会長)

今回は、回収率を上げるために両方で行うという形にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

WEBアンケートの回答をPCでしていますが、保護者の皆さんは、スマートフォンでされる方が多いと思います。この量の設問をスマートフォンの画面で回答するのはなかなか難しいのではないかと思いますので、WEB版のアンケートの設問を工夫しないといけないと思います。

紙面で設問を見ながら、WEBで同じ設問番号の部分に回答を入力するような形にするほうがいいと思います。紙でもこの設問量だと回答が大変で、目も疲れるし、かなり工夫が必要だと思います。

（事務局）

WEB のアンケート方式については、google フォームや鳥取電子申請サービスの利用が想定されます。委員様から頂いたご意見を参考に作成していきたいとおもいます。ご意見いただきありがとうございます。

（会長）

せっかく全数調査にしたけど回収率が落ちてしまうと意味がないので、設問や設問の長さ等については事務局の方で検討していただいて進めていってもらいたいなと思います。

調査方法について2つ変更がありました。

全数調査を行い、保育施設、小学校等に協力してもらい配布する。それとQRコードをつけるというところになります。

ちなみに、0歳児と1歳児については郵送になりますか。

（事務局）

保育施設に在籍されている方については、保育施設より配布し、まだ在籍されていない方については、郵送したいと考えています。

（会長）

アンケートの文言の話も出ていました。

前回アンケートから変更を行う設問について記載がありました。資料の7ページですね。例えば小学校区について、誠道小学校区がなくなったなどですが、アンケートの設問については事務局の方にお任せしてもよろしいでしょうか。

どうしてもここで言うっておきたいということがあれば、意見を言っていただくようお願いいたします。いかがでしょうか。

（事務局）

前回のアンケートの設問を基に、こちらで素案を作成しますが、もし本日ご意見があれば、伺った上で作成し、提案したいと思っております。

予定としては11月末をめどに委員の皆様へ素案を送付し、確認していただいた上で、意見を聞くという形を想定しております。いただいたご意見、ご提案を反映した形で最終案を作成します。

（会長）

では、改めて新しいアンケートの素案が送られてくるということですね。意見はどうやって送ればいいですかね。

（事務局）

素案と一緒にご意見・ご提案の提出について、案内する予定です。主にメールを利用したいと思っております。

（事務局）

素案は郵送で送る予定です。ご意見については、メール、FAX、持参等どんな方式でもいいので、委員の皆様が一番回答しやすい形で回答していただくようお願いします。

（会長）

修正があった部分については改めて提案があるのですか。

（事務局）

皆様からいただいた意見を反映させた案を再度作成し、第2回の会議までに送付し、最終決定は会議の中で行いたいと考えております。

（会長）

まず素案が来て、私たちが見て、メールなりFAXなり、または直接持参なりで考えをお知らせして、それを反映させたものを再度作成するという形ですね。

その意見がすべて反映されるとは限りませんよね。

（事務局）

委員の皆様の意見は別紙で整理しまして、意見を取り入れたもので、最終案を提示したいと思います。委員の皆様からいただいた意見について、事務局の意見もお示します。例えば、こういう理由でここを追加した、こういう理由で削除したなど。

意見を反映させた事務局案を提示し、その中で、やはり入れた方がいいというものがあれば、第2回の会議で話をしていただき、最終決定をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

（会長）

私たちの意見を、事務局に判断していただいて、採用の仕方を考えていただくということですね。

それを第2回の子ども・子育て会議において提案していただくという形ですね。

（副会長）

先ほど、委員が言われたところで、このアンケート用紙ですが、やはり設問量が多すぎて、回答しようという気持ちがなくなるのではないかと感じているのですが、ここにおられる皆さんにそのあたりも、ちょっと聞いてみたいなというところがひとつあります。

また、ニーズ調査の目的としては、子ども子育て世代に関する意識や意見をこのアンケートでいただきたいということなので、もう少し内容を絞ってもいいのではないかと思います。幅広くっていうところはあると思いますが。

でも、本当に聞きたい部分はどこなのかっていうのを精査した方がいいのではないかと、これを見て思いました。

例えば、仕事内容、就労状況は本当に必要なのかなど。

要は、子育てに関する意識や意見というところで、保護者の就労状況が本当に必要なのか。本当に必要だったら入れるべきですが、省いてもいいのではないかと私は思いますが皆さんどう思われますかね。

(委員)

言われる通りそうだと思います。

ただ、アンケートをするときに属性といって、誰がどんなふうに書いているかっていうことが知りたいので、どれが必要でどれが必要じゃないかというところで、中を見て困ったことがありましたから。基礎的な、ここは絶対必要という設問と、発展系の設問にして、二段階に分けて、余裕がある人はこっちの発展形の設問も回答してくださいという形にしてもいいのではないかと思います。

ボリュームが確かに多いのでちょっとやる気が出てこないと思いますけど、本当に必要なデータというのはあると思いますので、それは残さないといけないと思います。

(会長)

ありがとうございます。

アンケートの設問については、今後、何に活かしていくのかと、中を見ていく過程で、検討する際に必要な項目もありますし、今言われるように、それは答えても答えなくても、結果に影響のない項目もあるかもしれません。ですので、お二人のご意見聞いた上で事務局の方に内容の検討していただきます。

最初に話しましたように、答えてもらわなければ意味がないので、内容については事務局に検討していただく、それで、その素案が出てきたときに、私たちが、設問について話しあっていけばいいかなと思います。基本形があつての、このニーズ調査となっているのではないのでしょうか。

(副会長)

実際の保護者の方に意見を聞いてみましょう。

(委員)

確かにボリュームがあるなっていう感じがしますよね。

家を出る時刻とか、帰宅時刻とか必要なのかなとか、6時に帰ったら遅くまで預かってもらえるのかなとか。実際預けている立場からすると、これを答えることのメリッ

トはあるのかなって思われる方はおられるかもしれないですね。やっぱり時間もかかると思うし、ただその属性が必要というところも、理解できますが、そういうことを理解して協力していただけるかという、難しい方もおられると思います。

（委員）

属性を最後にしておいて、一番聞きたいことを、一番最初に持ってきた方がアンケートの回答が続くと思います。

普段、私がアンケートに回答する中で、相手が一番知りたい内容がトップにきて、だんだん下がって、属性についてはできるだけ簡単に、男性・女性・どちらか問わないというものも最近増えたけど、そういう感じで、年齢・職業と続くという具合になっていますけどね。

（事務局）

ありがとうございます。

このアンケートにつきましては、一期を策定した当初から国からアンケートの雛形が届いていて、ボリュームのある内容ですが、策定の際に必要な部分を精査して現在の設問数になっています。

今回のアンケートに関しては、今、いただいたご提案等を踏まえた上で、素案を作成していこうと思います。

（会長）

設問数や設問順番等様々な意見がありました。この意見を含めて事務局の方で作成していただくということでよろしいですね。

それでは、ニーズ調査については、「第2回子ども・子育て会議」にて最終決定になるというところをお願いいたします。

（会長）

その他について事務局の方で何かございますか。

（事務局）

その他については特にございませんので、次回の会議をご案内いたします。

「第2回境港市子ども・子育て会議」は12月27日(水)19時から予定しております。年末の非常に忙しい時期となり恐縮ですが、ご出席いただきますようお願いいたします。次回は、三期計画確定のためのニーズ調査案について確認・審議させていただきまして、確定させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。事務連絡は以上となります。

(会長)

第2回は12月27日(水)ということで、それまでにアンケートの素案を確認し、第2回の会議で確定できたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

ほかに何かございますか。

(会長)

それでは本日はこれで閉会したいと思います。ありがとうございました。

境港市子ども・子育て会議 委員名簿

令和5年10月現在

	選 出 区 分	氏 名	ふりがな	備 考	
副会長	子どもの保護者	佐々木達也	ささきたつや	小学校PTA連合会会長	欠席
	子どもの保護者	近藤美瑞穂	こんどうみずほ	保育園保護者会連合会会長	欠席
	子どもの保護者	金田 里美	かねださとみ	聖心幼稚園PTA会長	
	子ども・子育て支援に従事する職員	柏木 克仁	かしわざい かつひと	境港市保育協議会副会長	
	子ども・子育て支援に従事する職員	遠藤 美和	えんどう みわ	美哉幼稚園園長	
	子ども・子育て支援に従事する職員	荒井 利恵	あらい りえ	企業主導型保育施設園長	
会長	学識経験者	細田 淑人	ほそだ よしと	境港医師協会 竜ヶ山こどもファミリークリニック院長	
	学識経験者	景山 良恵	かげやま よしえ	境港市読み聞かせ団体 境港親と子どもの劇場代表	
	学識経験者	池淵 菜美	いけぶち なみ	こども未来ネットワーク代表	欠席
	学識経験者	竹内美智子	たけうち みちこ	NPO法人陽なた所長	欠席
	学識経験者	嘉賀 収司	かが しゅうじ	境港市民図書館館長	
	公募委員	宮本 剛志	みやもと つよし	元芝浦工業大学非常勤講師	
	公募委員	舩岡 彩子	ますおか さいこ	境港市学校指導補助員	

※I 敬称は、略しています。

【事務局】

境港市福祉保健部長	黒崎 享
境港市教育総務課長	角 純也
境港市子育て支援課長	北野 瑞拡
境港市子育て支援課児童係長	川田 順子